

2026年度
頌栄女子学院中学校

入学試験問題
(第2回)

算 数

- 《 注 意 》
1. 合図があるまで、この問題を開いてはいけません。
 2. 問題は8ページまであります。
 3. 解答はすべて解答用紙に記入すること。
 4. 受験番号は問題用紙・解答用紙両方に記入すること。
 5. 解答用紙には氏名も記入すること。
 6. 円周率は3.14とすること。
 7. 定規・コンパスは使わないこと。
 8. 問題用紙および解答用紙を折ったり切ったりしないこと。
 9. デジタル採点を行うため、解答は濃くはっきりと書くこと。

《 配 点 》 100点

《試験時間》 40分

受 験 番 号	
------------------	--

〔余白〕

次のページから問題が始まります。

1.

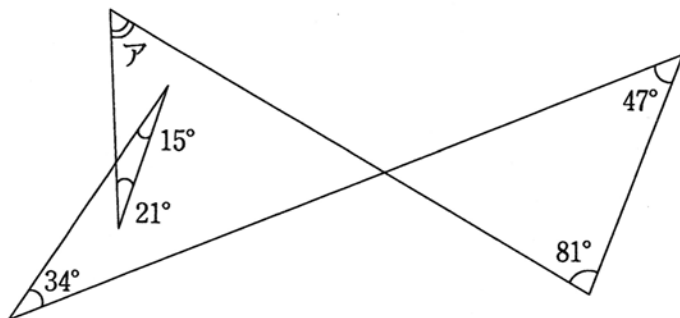
(1) 次の計算をなさい。

$$4\frac{7}{10} + \left\{ 8\frac{1}{4} - (6 \div 2.5 - 6 \times 0.3) \right\} \div 0.5$$

(2) 次の表は、縦、横、ななめの3つの数の和がすべて等しくなるとわかっています。◎にあてはまる数を求めなさい。

	$\frac{1}{5}$	
	$\frac{1}{3}$	$\frac{1}{15}$
$\frac{2}{15}$	◎	$\frac{2}{5}$

(3) 次の図において、角アの大きさは何度か求めなさい。



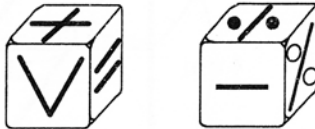
(4) 【図1】の6個の記号が各面に書かれた立方体があります。この立方体を2つの方向から見たものが【図2】，展開図が【図3】です。

【図3】の①，②，③に当てはまる記号を，【選択肢】の中からひとつずつ選びなさい。

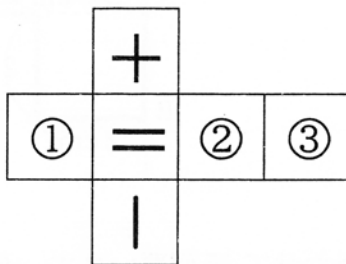
【図1】

$+$ $-$ \div $>$ $=$ $\%$

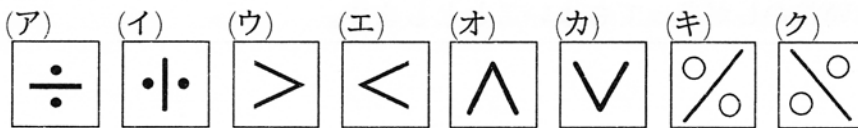
【図2】



【図3】

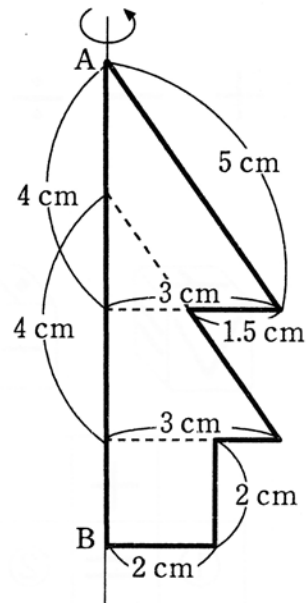


【選択肢】



(5) 頌子さんには姉と弟がいます。弟は頌子さんより4才年下です。3年後，姉の年齢は弟の年齢の2倍になり，姉と弟の年齢の合計は，頌子さんの年齢より14才大きくなります。現在頌子さんは何才であるか求めなさい。

- (6) 3辺の長さが3 cm, 4 cm, 5 cm の直角三角形2つと, 1辺の長さが2 cm の正方形を組み合わせた図形があります。これを直線 ABの周りに1回転してできる立体の表面積は何 cm^2 か求めなさい。



- (7) 1個10円, 30円, 100円のおかしをあわせて15個買います。合計の代金が300円以内になるように買う方法は全部で何通りあるか求めなさい。ただし, 1個も買わないおかしがあってもよいこととします。

- (8) 1884年12月8日は月曜日でした。その年の2月1日は何曜日か求めなさい。ただし, 1884年はうるう年です。

- (9) 直径と高さが等しい円柱の中に、この円柱と同じ直径の球が入っているとき、円柱の体積は、球の体積の $\frac{3}{2}$ 倍になることが知られています。

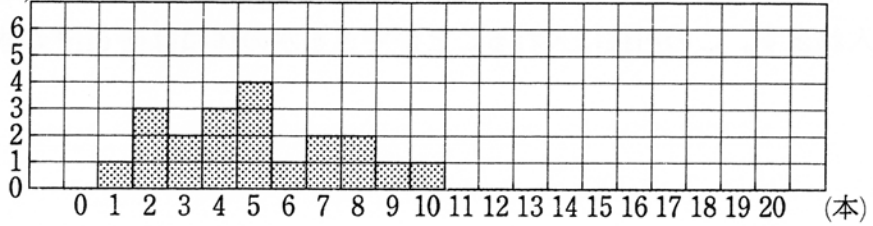
半径 6 cm、高さ 10 cm の円柱に、半径 3 cm の鉄球を 1 つ入れてから水を入れます。この円柱に入れることができる水の体積は何 cm^3 か求めなさい。

- (10) ^{のうど}濃度のわからない 2 種類の食塩水 A と B があります。A と B の重さを 4 : 3 になるように混ぜると 10 % になり、A と B の重さを 1 : 3 になるように混ぜると 12.25 % の食塩水になりました。A の濃度は何 % か求めなさい。

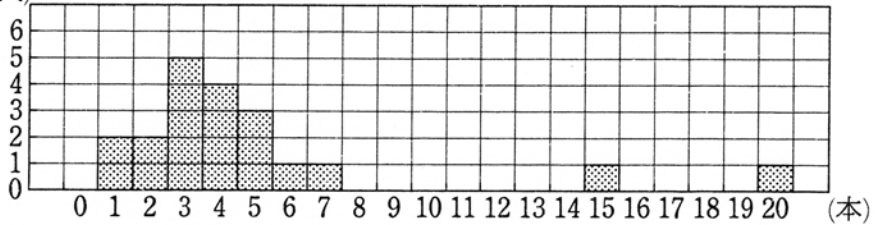
2.

20人のクラスが3つあります。この3クラスで今日持ってきているペンの本数を調査した結果が下のグラフです。

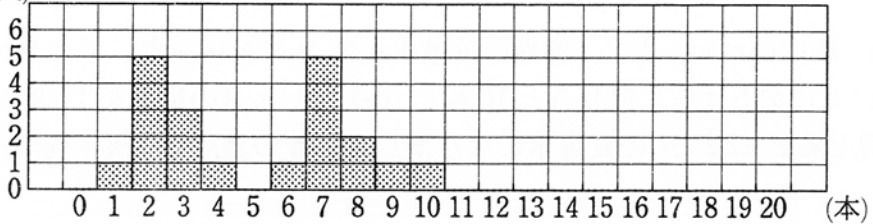
【1組】 (人)



【2組】 (人)



【3組】 (人)



それぞれのクラスについて、持ってきているペンの本数の平均値、最頻値、中央値を求めてみたところ、①値は3クラスとも等しく、②値は1クラスだけ異なり、③値は3クラスとも異なることがわかりました。

グラフを見るとデータの分布の特徴は3クラス全部異なることから、①値はクラスのペンの所持本数の特徴を表す値とは言いがたい場合もあると考えられます。

- (1) ①, ②, ③にあてはまる用語を平均, 最頻, 中央の中からひとつずつ選び答えなさい。
- (2) 2組において、①値と②値のどちらかをクラスのペンの所持本数の特徴を表す値とするならば、あなたはどちらがよいと考えますか。理由もあわせて答えなさい。

3.

A, B, C, D, Eの5人で行った長距離走^{ちようきよりそう}について、次のことがわかっています。

- ・CはAより遅^{おそ}くゴールした。
- ・BはAより早くゴールしたが、一番ではなかった。
- ・A以外の誰^{だれ}かとBはゴール直前に2人で競^せっていたが、先にゴールしたのはBだった。
- ・同時にゴールした人はいなかった。

レースに参加した5人は、自分の次にゴールした人しかわかりません。

全員の順位を知るために、誰か一人にだけ「あなたの次にゴールした人は誰でしたか？」と質問します。誰に聞くべきか考えられる人をすべて答えなさい。

4.

0より大きくて1より小さい、分母が144である分数が次のように並んでいます。このとき、次の問いに答えなさい。

$$\frac{1}{144}, \frac{2}{144}, \frac{3}{144}, \dots, \frac{143}{144}$$

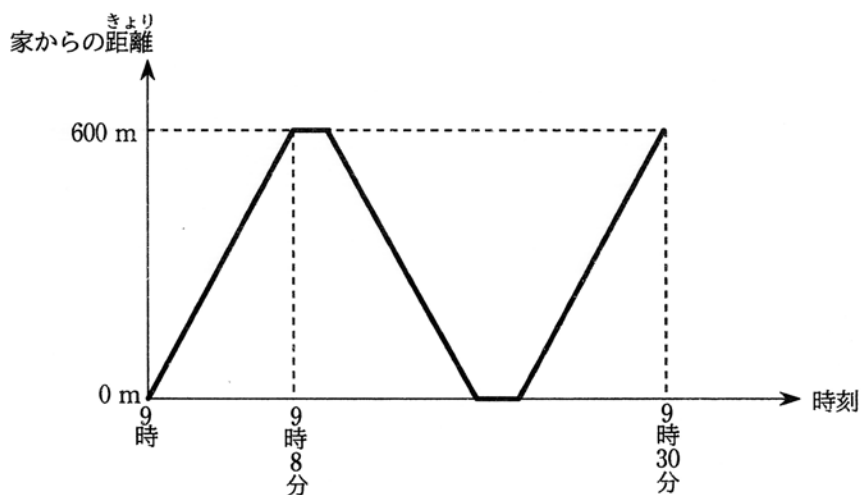
- (1) 約分したら分子が1になる分数は全部で何個あるか求めなさい。
- (2) 約分できない分数は全部で何個あるか求めなさい。なお、答えの求め方も説明しなさい。

5.

姉と妹が家から 600 m 離れた図書館に行きました。姉は 9 時に家を出発し、8 分後に図書館に着きました。ところがその 2 分後に忘れ物をしたことに気づき、図書館に来るときの速さの $\frac{4}{5}$ 倍の速さで家に戻りました。家に着いてしばらくしてから再びはじめと同じ速さで図書館に向かったところ、9 時 30 分に図書館に着きました。

妹は 9 時に家を出発し、図書館に向かったところ、姉より 7 分遅れて図書館に着きました。① 妹は姉とすれちがったことに気がつかなかったため、 ② 図書館で姉を探しました。 それでも見つからなかったため、行きの $\frac{3}{4}$ 倍の速さで家に向かったところ、9 時 28 分に姉に会えました。

下のグラフは、姉について表したものです。ただし、家と図書館の往復はすべて同じ道を使います。



- (1) 下線部 ① で、姉と妹がすれちがった時刻は何時何分か求めなさい。
- (2) 下線部 ② で、妹は何分間、図書館で姉を探したか求めなさい。なお、答えの求め方も説明しなさい。

氏名

受番	験号
得点	

2026年度入学試験 第2回

算数解答用紙

1	(1)	(2)	(3)	度
	(4) ①	②	③	
	(5)	才	(6) cm^2	(7) 通り
	(8)	曜日	(9) cm^3	(10) %
2	(1) ①	値	②	値
	(2)	値がよい。 _____		
3				
	(1)		個	
4	(2) 《求め方》		《答え》	個
	(1)	時	分	
5	(2) 《求め方》		《答え》	分間

氏名

受験番号
得点

2026年度 入学試験 第2回

算数 解答用紙

1	(1) 20	(2) $\frac{7}{15}$	(3) 58 度
	(4) ① (カ)	② (イ)	③ (ク)
	(5) 10 才	(6) 157 cm^2	(7) 12 通り
	(8) 金曜日	(9) 1017.36 cm^3	(10) 7 %
2	(1) ① 平均値	② 中央値	③ 最頻値
	(2) 中央値がよい。 略 《理由》		
3	B, D, E		
4	(1) 13 個		
	(2) 《求め方》 略 《答え》 48 個		
5	(1) 9 時 12 分		
	(2) 《求め方》 略 《答え》 8 分間		